

## 詰将棋作品集③

まえがき

平成15年から16年にかけて、ほとんど駒に触れない日が続きました。特に理由はありませんが、ただ、それ以前も含めて徐々に熱が冷めてきていたのかな、と思う。そういう意味では健全な生活だったかもしれません(笑)。

今年に入ってなにとはなしに1局できたのを契機にして創作・解図を再開しました。前に比べてカンが落ちているし、なによりも素材がなく、復帰と言えるような状態ではないけれど、そこは一度冬眠した身、気楽にやっています。

今回纏めたのは平成10年から今年にかけて発表した作品の中から25局。創作したのがすべて冬眠前のもので、いい区切りといえるかもしれません。手数は11手から101手ですが、手数が長いほど易しいというワケのわからなさは私らしい?また、作品の並べ方は例によって適当。なんとなくこんな感じかな、といったところ。

作品レベルがどうかは言いませんが、もちろんそれなりに愛情をこめて作ったつもり。心してご覧ください…というのはもちろんウソ。どうぞお気楽に。

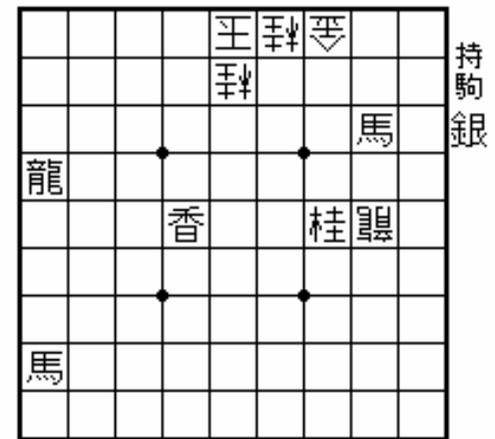
なお、本編の作成にあたっては大変多くの方に色々な形でお世話になっております。いつものことではありますが、本当にありがとうございます。

平成17年8月

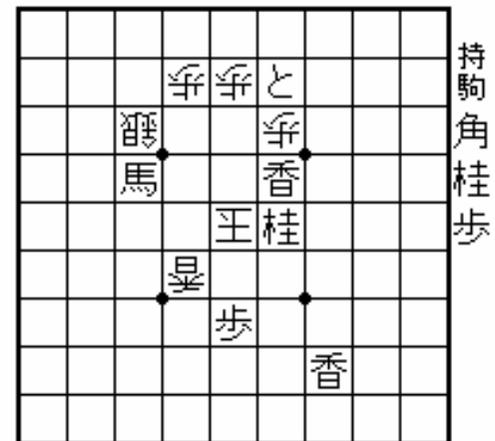
市島 啓樹

作品の部

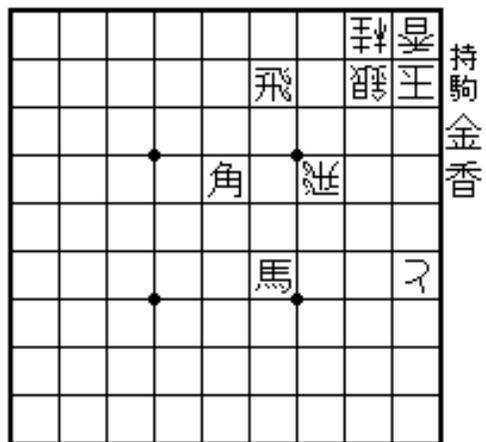
第1番



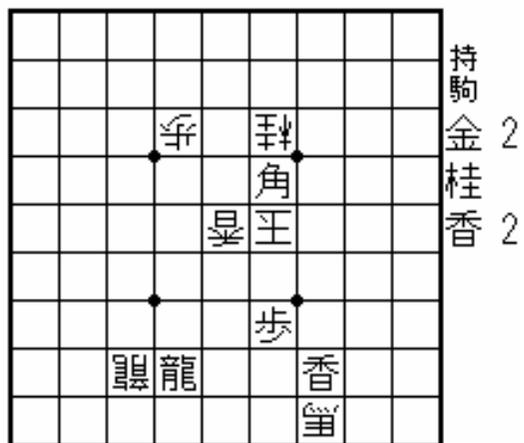
第2番



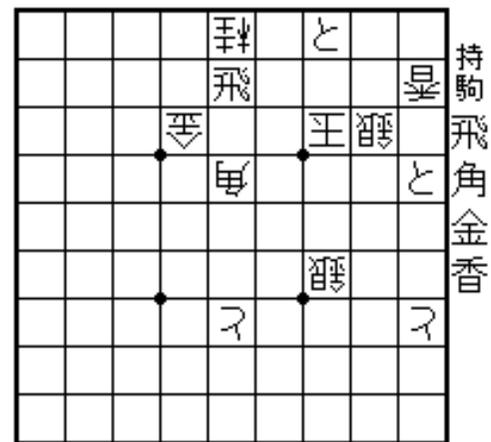
第3番



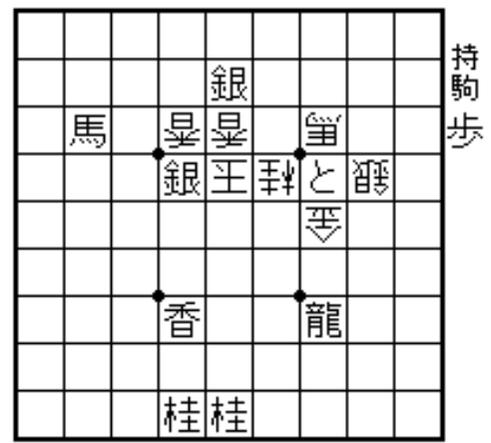
第4番



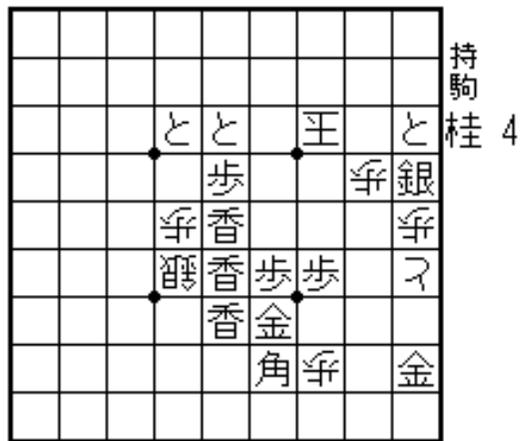
第5番



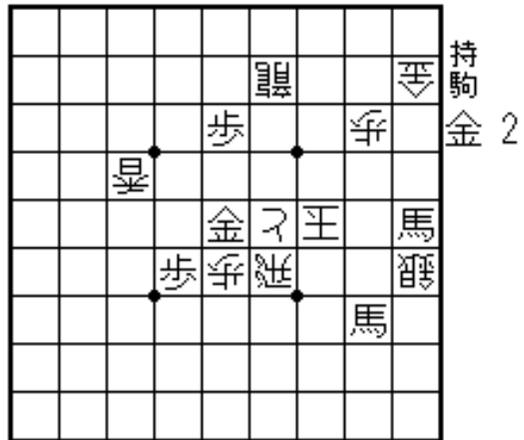
第6番



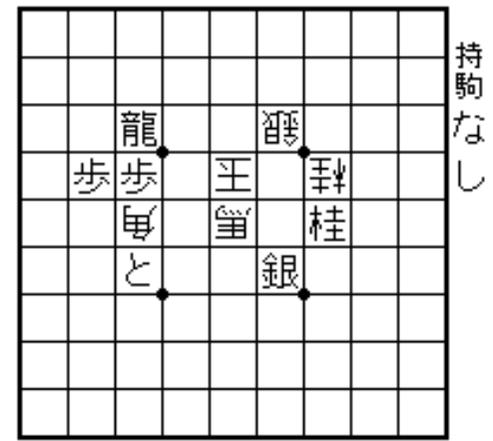
第7番



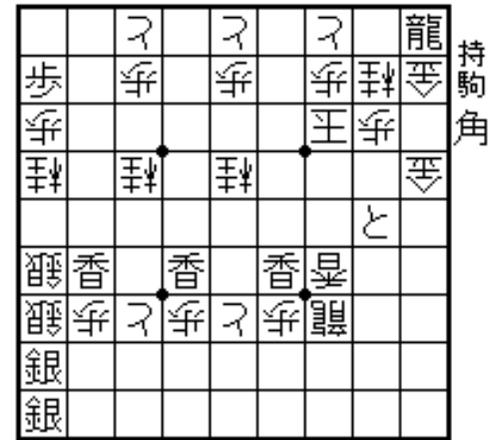
第8番



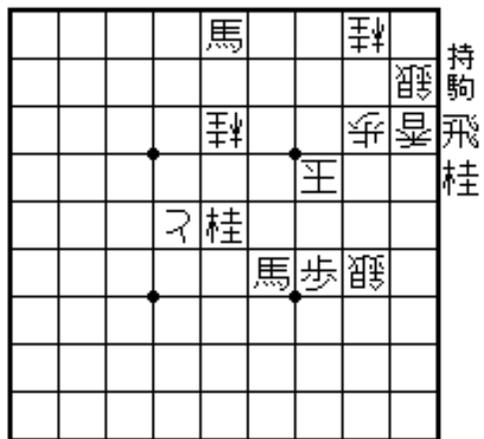
第9番



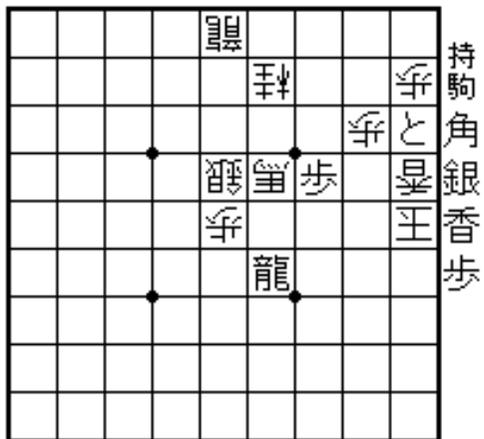
第10番



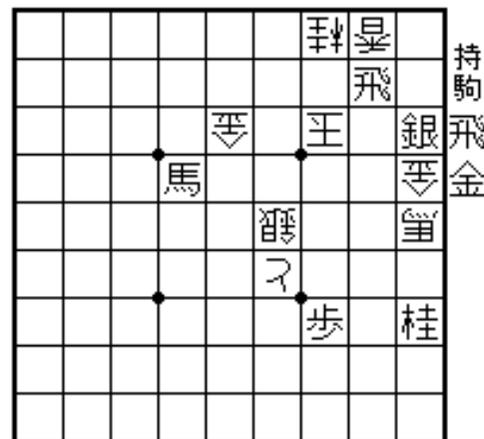
第11番



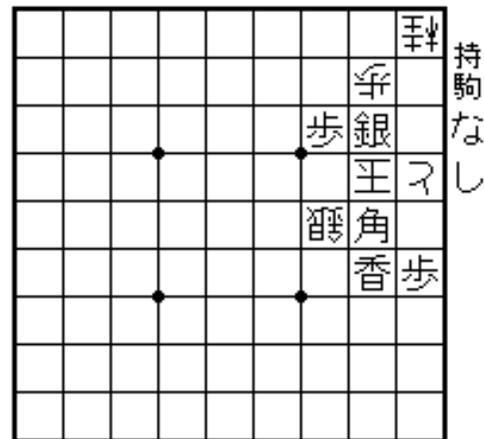
第12番



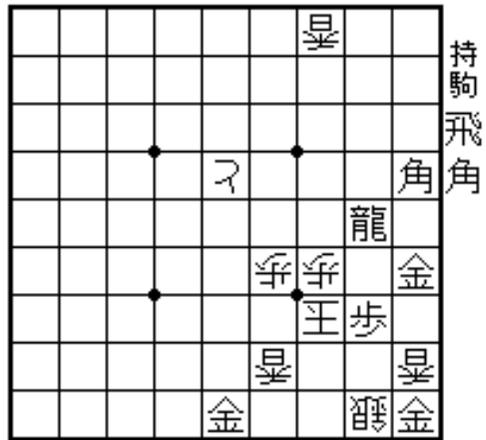
第13番



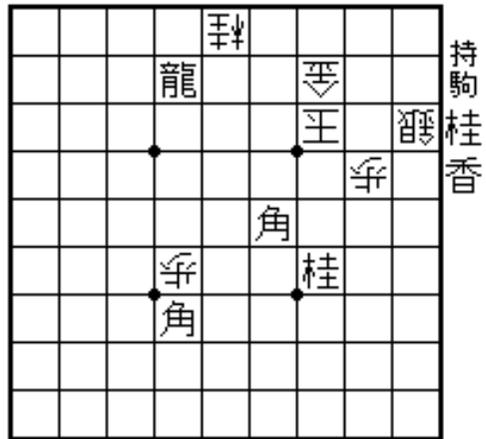
第14番



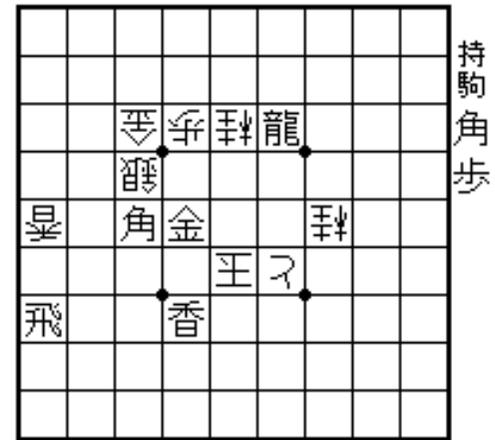
第15番



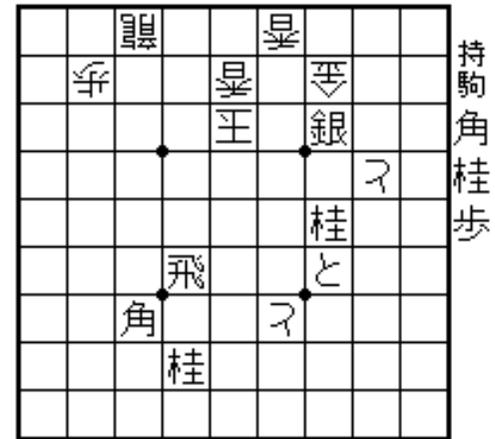
第16番



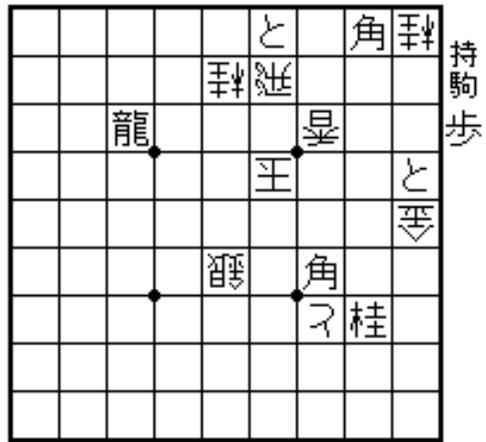
第17番



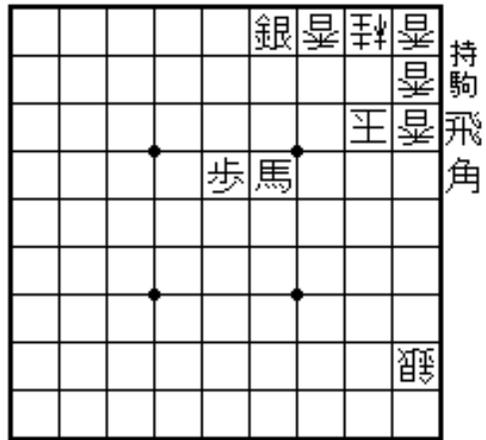
第18番



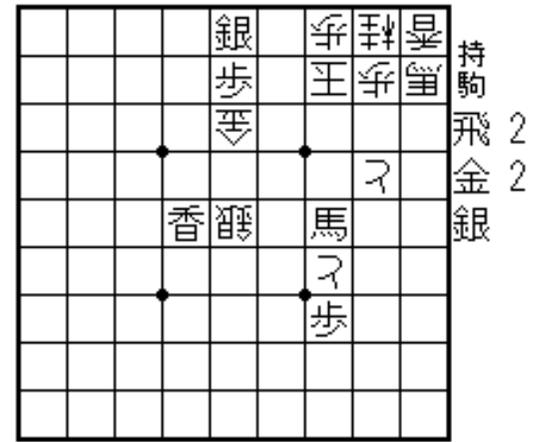
第19番



第20番



第21番



第22番

